

私たちの暮らしに潜む危険

これくらいは大丈夫？が事故につながります

私たちの身の回りには便利な機器や商品が溢れ、私たちの暮らしは昔と比べると大変豊かになりました。しかし、便利なものが著しく増加する一方で、それらをめぐる事故も増加し、使用する私たちの身に危害が及ぶこともあります。事故の原因はさまざまですが、私たち消費者の誤った使い方が原因で発生する場合も少なくありません。

器具や商品などを使用する際には、取扱説明書をよく読み、安全に使用することに心掛けましょう。

コーヒーが突然沸騰してやけど

事例

マグカップにコーヒーを入れて電子レンジで加熱して取り出したところ、突然飛び散って顔にやけどを負った。

〈2012年11月 東京都〉



原因

飲み物用ではなく自動用の温めキーで加熱したため、過熱状態となり、取り出した際の振動で突沸現象を起こしたものです。



・飲み物(水・牛乳・酒・コーヒーなど)やカレー、シチューなどのとろみのあるものなどは、加熱中や加熱後に突然沸騰して飛び散ることがあります。

・少量の食品は自動ではなく、手動で様子を見ながら加熱してください。飲み物は加熱前にスプーンなどでかき混ぜて突沸が発生しないようにし、加熱し過ぎた場合は、冷ましてから取り出してください。

スプレー缶が破裂

事例

スプレー缶(エアダスター)が破裂し、天井や壁面など周辺を破損した。

〈2013年3月 石川県〉



原因

電気ファンヒーターの吹き出し口の近くに置いていたスプレー缶が加熱され、内圧が上がって破裂したものです。



・スプレー缶を暖房機などの温風にあたる場所に放置しないでください。

・スプレー缶には、目的成分(殺虫剤では殺虫成分)を噴出させるための噴射剤が入っています。噴射剤には可燃性ガスが使用されることが多く、火気の近くや高温になる場所で使用すると引火・爆発するおそれがあります。

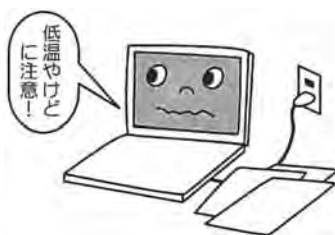
ノートパソコンで低温やけど

事例

長時間、ノートパソコンを使っていたら低温やけどを負った。〈2012年4月 大阪府〉

原因

排気口から出る熱を受ける姿勢で、長く使い続けたため、腕に低温やけどを負ったものです。



・ノートパソコンは、長時間使用すると温かいと感じることがあります。その程度の温度でも、ひざの上に乗せて使ったり、パームレスト(キーボードを打つときに手を乗せる部分)に手を乗せたままにしてると低温やけどを負うことがあります。

・ゆたんぼや携帯電話機、スマートフォン、電気カーペットなども低温やけどに注意が必要です。

充電中にやけど

事例

スマートフォンを充電中、ACアダプターのコネクタ(マイクロUSB)が発熱し、手にやけどを負った。

〈2014年4月 神奈川県〉



原因

充電器のコネクタをスマートフォンに接続する際に力を加えたため内部が変形し、端子間がショートしてスパークが発生、異常発熱したものです。



・コネクタを接続する際は、接続の方向を確認してまっすぐに挿入してください。

・コネクタに液体(汗や飲料水)や異物(細かいゴミや金属片など)を付着させないでください。

・一度曲がってしまったコネクタは使用しないでください。

出典：N I T E(ナイト) 独立行政法人製品評価技術基盤機構

消費生活に関する相談は、

鯖江市消費者センター ☎53-2204まで